

那須高原小学校保護者の皆様へ

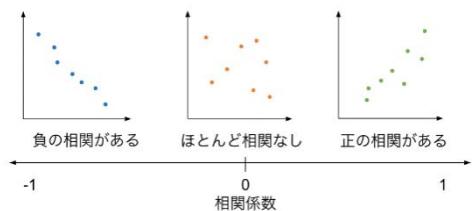
スクールカウンセラーだより 第5号

相関関係と因果関係

今年度も残りわずか2ヶ月となりました。有終の美という言葉のように、目標を達成して満足感を得られるように、ご家庭と学校が連携・協力してお子様たちを支えていきたいです。

さて、昨年度も触れましたが、今回も相関関係と因果関係ということについて少し触れたいと思います。この2つの言葉は心理学の研究において非常に多く用いられますが、社会における行政施策などにおいても重要視されています。

Aという出来事とBという出来事があるとします。Aが起きる時にはBも起きるという確率が高いと、この2つには何らかの関係(=相関関係)があると考えます。横軸をA、縦軸をBとしてグラフ化すると、点の並び方が直線的になればなるほど相関関係が強いと考えられます。逆に、点の場所がバラバラで、グラフ上に拡散しているようになれば、何の関係もないと考えられます。



この相関関係と似ているのが因果関係です。これは、文字のとおり、原因と結果という関係であり、時系列で考えてみれば原因が先にあり、結果のほうが後にあります。「ボールを投げた→(だから結果として)ガラスが割れた」はありますが、「ガラスが割れた→(だから結果として)ボールを投げた」ということはありえません。こんなことは誰でも知っているはずなのですが、実は相関関係と因果関係は混同されることがとても多いのです。

「このテキストを使えば全ての子どもの学力が上がる」これは因果関係でしょうか?原因と結果が真逆で、学力が高く、学習意欲も高い子どもだから、知的好奇心が強いからそのテキストを使っているのかもしれません。この例のように、相関関係はあっても因果関係はないかもしれない言説に私たち大人が騙されてしまい、子どもに間違った要求をしてしまうと、時間や労力の無駄が大きくなり、子どもに苦痛や挫折感を与えてしまいます。因果関係が本当にあるかどうかを見極めるためには、因果推論(Causal Inference)という方法論に基づき、数学的に、ビッグデータを用いて解析する統計学というものを用います。世の中には「ハウツー本」が数えきれないほどありますが、確固たる証拠(エビデンス)に基づいているか確かめることが子どもたちを守ることになるでしょう。

◆スクールカウンセラーへの相談方法

相談は原則として予約制です。相談を希望される方は大森先生または月井教頭先生までお知らせください。また、下記以外の月曜日は概ね那須町内の他校にありますので、急ぎの場合にはご相談ください。

◆2月および3月の勤務予定日および時間帯

勤務日: 2月16日(月)、3月16日(月)

勤務時間帯: 8:10 ~ 16:40